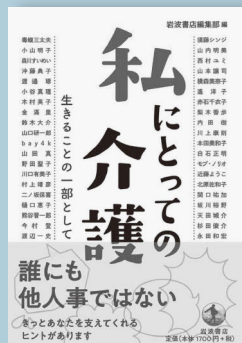


今月の 新刊紹介



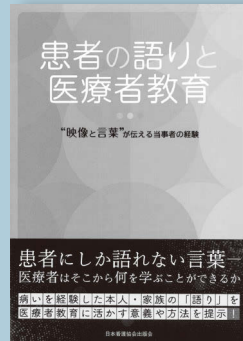
快適! ストーマ生活
日常のお手入れから旅行まで 第2版
著：松浦信子，山田陽子
発行：医学書院
定価：2000 円＋税
B5 判 144 ページ

排泄の専門家が患者の不安や悩みを解消するために、意外と知らないちょっとした管理のコツや日常生活を快適に過ごすための工夫を、豊富な写真とイラスト付きで解説。合併症の見極めや対応方法などの情報も充実しており、患者指導に携わるナースの必携書。



私にとっての介護
生きることの一部として
編集：岩波書店編集部
発行：岩波書店
定価：本体 1700 円＋税
四六判 206 ページ

少子高齢化や社会保障費の抑制が進む中、介護のかたちも多様性を増している。誰もがケアの当事者となりうる社会の到来を踏まえ、各界の 40 人が介護の体験や現状への問題提起についての「これだけは言いたい」を記した、実践的なヒントが満載の 1 冊。



患者の語りと医療者教育
“映像と言葉”が伝える当事者の経験
編集：健康と病いの語りディベックスジャパン
発行：日本看護協会出版会
定価：本体 2400 円＋税
B5 判 166 ページ

病を経験した患者や家族の「語り」から、医療者は何を学ぶのか。本人にしか紡げない言葉は、医療者としての資質や能力を刺激・触発し、患者の全人的理解に導いてくれる。本書はその語りを医療者教育に活かす意義や方法を提示し、活用例を紹介する。



**発達障害の人の会話がぐんぐん伸びる
アイスブレイク & ワークショップ**
著：冠地情，かなしろにゃんこ。
発行：講談社
定価：本体 1500 円＋税
A5 判 210 ページ

当事者が考案した、発達障害の人のためのアイスブレイクとワークショップ。ゲーム感覚でコミュニケーション力を高めるアイデアを多数紹介し、そのやり方と盛り上げるコツを漫画と図で解説する。支援機関や発達障害の人と関わる人たちに役立つ実用書。



社会的処方
孤立という病を
地域のつながりで治す方法
編著：西智弘
発行：学芸出版社
定価：本体 2000 円＋税
四六判 224 ページ

認知症・うつなど、各種疾患の源流にある社会的孤立。医療の枠組みだけでは対処できないこの問題への解決策として、地域でのつながりを提案する「社会的処方」が注目を集めている。制度として導入した英国の事例と、日本各地で始まった取り組みを紹介する。



はじめてのファシリテーション
実践者が語る手法と事例
編集：鈴木康久，嘉村賢州，谷口知弘
発行：昭和堂
定価：本体 2400 円＋税
A5 判 232 ページ

集団による知的な相互作用を促進するファシリテーションは、教育現場から組織運営まで広く活用が進んでいる。本書では、ファシリテーション初学者へ向けて、その心構えや手法、効果的な場の作り方、具体例などを、事例と図解を交えて数多く紹介する。

看護管理に
効く
1 冊